



2021-22 年度  
福山西ロータリークラブ

# 例会情報

第 1484 回 (31)

会 長 能 登 伸 一  
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2022 年 4 月 12 日 (火) 12:30 ~  
場 所 福山ニューキャッスルホテル  
例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」  
ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照)  
例会情報 会長報告  
幹事報告  
出席報告  
S A A 報告  
スマイル報告  
プログラム情報  
その他報告

その他情報  
メイクアップ情報 (来週分)  
メイクアップ情報 (再来週分)  
今後の行事予定  
クラブ活動報告



## 【 会 長 報 告 】

皆様、こんにちは。すっかり暖かくなって、何をするのにも気持ちよい季節となりました。ゴルフも釣りも最高だと思えます。そして丸山さんから桜が咲く奉仕の森のお便りも届いています。ところが、藤井英勝さん情報によりますと、またイノシシが悪さをしているようです。私も近いうちに行ってみようと思えます。

先週の会長報告で、この度の IM について平田さんから言って頂いたと思えますが、今日は IM についてももう少し話します。入会間もない方にお伝えすることとして、まず IM とは、Intercity Meeting 都市連合会と訳されます。グループ単位でガバナー補佐が主催して開かれることが多い。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから懇親会も併せて開催されるということで、コロナ禍でも懇親会にこだわった理由がわかります。

福山西ロータリークラブがホスト（世話役）を務めた過去の IM について調べてみました。このところ5年毎にその役がめぐってきます。2017 年は私もすでに入会していましたが、この時本会議で司会進行の大役を務めさせて頂きました。竹中さんがガバナー補佐、城之内さんが実行委員長で、テーマは「がんの予防と共存」で、がんの正体はどんなもので、予防策としてはどんなことがあって、やはり喫煙は良くないという話と、とにかく早期発見が一番ということでした。

2012 年は宇田さんがガバナー補佐、徳永さんが実行委員長で、テーマは「世界の平和は家庭から」で、趣旨は親子のコミュニケーションの大切さと地域社会全体で子供を見守ることが求められていること、そして子供たちにとって現在のネット社会の怖さと上手な使い方について考えました。

2007 年は昨年亡くなられた石川先生がガバナー補佐をされていた時で、テーマが「学びて 為す」。この年度だけは資料みても内容がよくわかりませんでしたので、その時に実行委員長をされた勝岡さんに昨日電話で取材して教えて頂きました。この時の基調講演は、2680 地区の田中さんというパストガバナーによる「決議 23-34 の徹底的解析」をしています。石岡さんの関りでこの方に来ていただいたとのこと。ロータリアンなら決議 23-34 ということばを聞いたことがあるらしいのですが、これは 1912 年頃からロータリーのあるべき姿、奉仕の仕方について激しい対立があって、その分裂の危機を納めたものが 1923 年セントルイス大会の決議第 34 号というもので、それを 2007 年の IM で取り上げたというわけです。実はこのいわゆる決議 23-34 については、勝岡さんがまさにこの度 HP 上で紹介する予定にされているということでしたので、この 23-34 の内容はその中で確認して頂きたいと思えます。

福山西ロータリークラブがホスト役を務めた IM、2007 年の前は 2000 年度となります。ガバナー補佐は辰川先生で実行委員長は石岡さんでした。基調講演は天野パストガバナーによる「ロータリアンのリーダーシップ」でした。会社とかで必要とされるリーダーシップと

RCのそれはどんなところが違うのか、今の私が是非聞いてみたいと思う内容です。第2部では、青少年の教育について、教育関係者がパネラーで会場とパネルディスカッションをされています。

以上、私が調べてみた、うちのクラブがホストを務めたIMの歴史です。次回は順当にいけば2027年度となります。

いずれにしても次回、福山西RCがホストを務める時には、先日よりも多くのメンバーでできればいいと思いますので、今日の例会で新しい仲間づくりに知恵を出し合いたと思います。

本日もどうかよろしく願いいたします。

## 【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第2710地区事務局より ・2022-23年度 地区研修・協議会のご案内
2	動物臨床医学研究所より ・書籍寄贈リスト
3	外国人留学生を支援する会 ・スピーチコンテストの御礼状およびDVD
4	

# 【プログラム情報】

## 《 会員増強フォーラム 》

会員増強委員会 委員長 黒木 成光



皆様こんにちは。本日は会員増強委員会クラブフォーラムをさせていただきます。  
今期も残りわずかとなりましたが、少し私なりに感じたことを話させていただきます。

約、一年前にこの大役のご指名を受け、分からないなりに書類等を作成する事でいっぱいでした。色々なアンケートを取らせていただいたりして、内容に纏めました。

しかし、コロナ感染症によるまん延防止の為に、例会は休会や時短に追い込まれました。このレポートを作成する前は、「休会・時短」の二文字で、皆様と考えた解決策に真剣に取り組もうとせず、やっと役職の終わりの出口が見えて来たと思っておりました。

敢えて失礼な言葉を使わせて頂きます。皆様は新規会員の増員については、若い人に任せておけばいいと、もう諦めていませんか？

なぜ、こういった事を言わせていただくかと言うと、この一年間を通じて新規会員候補者の食事会には二人しか呼べておりません。（大植会員は含んでおりません）

失礼を承知で言わせて頂きます。皆様の新規会員への増強をしなければいけない熱意が冷めているのではと、温度差を感じました。

私も今思えば、例会前にノートを持って、皆様のテーブルに回って、進捗状況をヒアリングでもしておけば、また違ったのではと今頃思い、悔やんでおります。

そして、皆様からの方から「黒木さん、この前な、声をかけたけど断られた」と言った話が一度もありませんでした。

それを踏まえた上で、今回のレポートを作成するに当たり、これでいいのかなと、ふと考える時間があり、私なりに率直な気持ちを書きました。

皆様の中には「嫌々、黒木さん、声掛けはしとるけど貴方に報告をしてないだけ。」と言われる会員様がいらっしゃると思います。そういった会員の方には本当に失礼かと存じます。

本題に入りますが、2122年度も終わりが近づき、来期も一年間を通じて真摯に会員増強をしていかないといけません。また会員増強フォーラムだけで話す・考えるだけでは時間がとても足りなかった事が一番の反省点でもあります。それをコロナ禍での休会や時短を原因にした事や、私の活動不足を理由付けに置き換えてしまった事を見つめ直しました。

今後、皆様の考え方・行動を変えていかなければならないと思います。なぜなら、来期役員 の笹田会長・吉山増強委員長が新規会員を増やさねばと、奔走されるでしょう。福山西RC 一番の課題を、次年度に持ち越され、新規会員の増強といった課題はそのままに、翌次年度へ引き継ぐといった、とても悪い循環になっております。

皆様と打開策打開策を色々と考えを色々と考え・話してきましたが、【まずは、とにかく昼食に来ていただく】。昼食に足を運んで貰う昼食に足を運んで貰う理由付けは何でも構いません。昼食に理由付けは何でも構いません。昼食にとにかく来ていただかない事には、皆様のお顔や思いが新規会員に伝わりません。

私事ですが、最初の声掛けはどうしてもロータリー入会が前に出てしまい、初めから拒否されてしまいされてしまいました。中には電話にも出してもらえなくなりました。

そこで取り組み方を少し変え、「とにかく昼ご飯をたべよう、なんも難しく考えんでもいいから、いろんな人の名刺がもらえるよ。」と誘い方を変えてみました。すると5月10日の日の例会には幾らかの人が昼食に来て下さる予定です。

次に新規候補者が昼食に来ていただいた時です。以前、岡崎さんと私のゲストが同じ日に昼食に来られました。昼食前に皆様に紹介をするにあたって、各テーブルに名刺を配りに回りました。当たり前の様ですが、これを少し変えてみてはいかがでしょうか。

ゲスト参加のスケジュールは分かっています。ゲストの方にまず先に食事を済ませて頂き、合間を見ながら会員の方からゲストに歩み寄り、和やかな雰囲気でお刺しや言葉を交換する事です。この方法がゲストを紹介するときにも、会話をしている時間などが長めに取れます。

以前のやり方だと、紹介するときには会員の方が食事中ということもあり、あまり会話ができていなかったと記憶にあります。名刺を交換するにあたって、会員様から一言、「あんた男前じゃね・若いね・体が大きいね」、何でも構いません。和まして、緊張感を取り除くことが大切な事ではないか思いました。

私の経験上、能登会長に連れられて、名刺交換をしながら、例会が始まり、国歌君が代の例会が始まり、なんかとんでもない所に来てしまったなと感じ、緊張したまま帰路についた記憶があります。慣れればなんでもない事です、新規ゲストが入会を考えるまでもなく、入会を考える以前に、緊張でマイナスになると感じました。

私が思うには、皆様の温かい笑顔や一言でかなり和むと考えております。

そこで一回の食事ではなく、もう一度昼食会に来ていただければと考えました。「前回来てくれた時に、〇〇さんがもう一度会って話をしてみたい」と再度来られた時には、会長・増強委員長の出番だと思います。

21--22年度も残り僅かになりましたが、まずはとにかく昼食に来ていただく為にどうすれば良いか。名刺交換時の声掛けをどうすれば良いか。来ていただいた新規会員候補の緊張をどうやって取り除き、迎え入れるか。

この3点を各自グループでお話しをして頂ければと思っております。他にこういった提案があるグループには、題目を決めませんので提案をしてください。



